

シーシーエス、Vision Systems Design 2019 Innovators Awards にて 3 賞を受賞

～ シーシーエスの先進的な技術開発が、高い評価を獲得 ～



画像処理検査用 LED 照明メーカーのシーシーエス株式会社（本社：京都市 代表取締役社長 大西浩之、以下、シーシーエス）は、2019年4月8日に米国イリノイ州シカゴにて開催された Vision Systems Design 2019 Innovators Awards にて、シーシーエスグループが開発した「LSS シリーズ」および「OLF シリーズ」がそれぞれ金賞を、Effilux 社の「SWIR H.O.P テクノロジー」が銅賞をそれぞれ受賞しました。

「LSS シリーズ」は、分割して発光する検査用 LED 照明と、そのコントローラおよび画像処理ソフトで構成されており、検査対象物を異なる角度で照射し撮影した画像を差分合成することで、単一で撮像する場合と比較して、より大きなコントラストを撮像することができる検査ソリューションです。これにより、従来は複数の検査ステージが必要だった検査でも、1 ステージで、微細な欠陥などを検出する撮像を実現します。本シリーズは CCS America が開発し、既に、欧米向けに販売を開始しております。

「OLF シリーズ」は、照明の筐体が 3~4mm の薄さを実現したパネル型照明です。これは有機 EL 照明で、極めて省スペースでありながらドーム照明と同等の均一な拡散光を照射することを可能にしています。また、有機 EL は一般的な LED 照明と比較して、発熱量を低く抑えることができます。

有機 EL 技術は数十年前から存在していましたが、単位面積当たりの明るさの不足や製造技術が困難であることなどから、マシンビジョン用途での活用はあまり進んでいませんでした。今回シーシーエスは、明るさ、歩留まり、寿命、製造技術等の工夫により、マシンビジョン分野でも十分に使用できる水準の照明として開発しました。本シリーズは、2019 年夏頃の市場導入を予定しています。

「SWIR H.O.P (Short-Wave InfraRed High Optical Power) テクノロジー」は、シーシーエスのグループ会社である Effilux 社（本社：フランス パリ）が開発した技術で、ある特定の LED と独自の光学ブースターを組み合わせ、新しい光源です。LED の持つメリットを維持したまま 1550nm の波長の出力を高めることができ、この技術によって、樹脂や水、脂質などの目では見えない現象や成分を画像化したり、霧やほこりのある環境でも、透過して観察することを可能にします。こちらは現在、販売に向けて準備を進めています。

シーシーエスは今後も、お客様の「見える！」を実現するため、ソリューション領域の拡充と先進的な技術開発に注力していく方針です。

■ シーシーエス株式会社について

シーシーエスは、1993年に京都で工業用途での検査用 LED 照明メーカーとして設立以来、画像処理検査用 LED 照明の分野ではリーディングカンパニーとして、トップシェアを誇ります。工業用途で培った、照明の使い方により検査精度を高める技術「ライティングソリューション」を強みに様々な分野へ展開しています。近年では、様々なカメラメーカーやレンズメーカーと連携し、お客様のご要望に応じた機器選定および設定を最適化するソリューションのご提案を積極化しており、お客様の利便性を高めることに注力しています。

◇シーシーエスの詳細につきましては、Web サイトをご覧ください。<http://www.ccs-inc.co.jp>

■ 本件に関するお問い合わせ ■

シーシーエス株式会社 <http://www.ccs-inc.co.jp>

国内営業部門 販売促進課 秋元

〒602-8011 京都市上京区室町通出水上ル近衛町 38 番地

TEL : 075-415-8277 (広報) FAX : 075-415-8278

E-mail : koho@ccs-inc.co.jp